



能登町を襲った津波による被害

被災地支援のため、湯浅町役場から職員2名を石川県へ派遣し、避難所の運営や公費解体の受付業務等に従事しました。この写真は実際に派遣された職員が撮影したものです。

今この瞬間から、未来を守る行動を

— 防災特集 —



▲能登町役場に掲げられた横断幕

『いつか』
起こる大地震それは
『今』かもしれない

今年の元旦、北陸を襲った大地震、能登半島地震。災害は突如として、そこに暮らす人々の日常を奪い、生活を一変させました。また、その被害も大きく、地震から半年が経った今でも多くの方が避難所での生活を余儀なくされています。一日も早い被災地の復興をお祈りします。

和歌山県では、今回の能登半島地震以上の被害をもたらす



▲教室に設置された避難所

とされる南海トラフ地震が今後30年以内に発生する可能性が70〜80%とされており、いつ大地震が起きてもおかしくありません。

今回の防災特集では大地震に対して、どのように備えていくことができるのかについて、お伝えします。そして、皆様にお配りしている防災ラジオに代わる新しい取り組み『防災アプリ』についてもお伝えします。

